

## アナログアキュライザーの展開(10)

### ー音源比較(10)ー

#### 1. 始めに

前報(9)に引き続いて、アナログアキュライザーの効果を受けつつ、フォーマット違いの各種音源を切り替えて比較試聴していきます。

#### 2. アナログアキュライザーの適用と試聴方法

アナログアキュライザーの活用(19)からアナログアキュライザーの活用(21)までの検討結果を要約すると次のようになります。

アナログ音源再生時の適用

ステップアップトランス Stage1030 の入力端子

フォノイコ Brooklyn DAC+の出力端子

fidata 収納および TIDAL における MQA 音源のストリーミング再生時の適用

DA コンバーターBrooklyn DAC+の出力端子

その他のデジタル音源再生時の適用

DA-3000 の入力端子 (Ex-Pro の出力後)

DA コンバーターBrooklyn DAC+の出力端子

今回も上記のルートでエルガーのチェロ協奏曲ホ短調を聴いていきます。

アナログ

Warner Classics 019029587

ジャクリーヌ・デュ・プレ (vc) バルビローリ指揮ロンドンシンフォニー

MQA-CD

ワーナーミュージック WPCS-28424

ジャクリーヌ・デュ・プレ (vc) バルビローリ指揮ロンドンシンフォニー



## BPODCH

2014 年 4 月 20 日バーデン＝バーデン祝祭劇場収録

ソル・ガベッタ (vc) ラトル指揮ベルリンフィル



2010 年 5 月 1 日ヨーロッパ・コンサート 2010 (オックスフォード) 収録

アリサ・ワイラースタイン(vc) バレンボイム指揮ベルリンフィル



### 3. アナログアキュライザーの試聴結果

アナログのデュ・プレ盤は、この曲がデュ・プレの定番といったもので、デュ・プレ一流のアクセシブで感情のこもった演奏です。

MQA-CD のデュ・プレ盤は、アナログのデュ・プレ盤と同じマスターのようで、アナログのデュ・プレ盤の印象をかなり復元してくれています。

BPODCH の演奏では、バーデン＝バーデン祝祭劇場収録のガベッタも、ヨーロッパ・コンサート 2010 (オックスフォード) 収録のワイラースタインも、それぞれ、デュ・プレに負けない個性的な演奏です。この曲のメランコリックな風情が、女性ソリストを魅了するのか、表情にもそれが現れています。ともに本拠地のベルリンフィル大ホールの収録ではないので、オーケストラの音の響き具合が違います。

### 4. まとめ

エルガーのチェロ協奏曲について、奇しくも女性ソリストばかりとなりましたが、アナログアキュライザーの効果を取り入れた、メディアや再生経路違いの音質や演奏の比較

が容易にできるようになりました。

以上